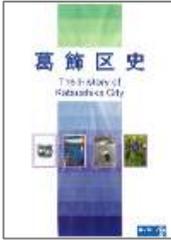
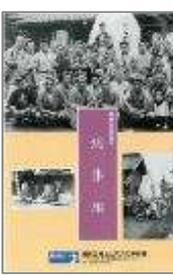


# 葛飾区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『葛飾区子ども・若者計画』</p> <p>子ども・若者世代の置かれた現状を把握し、個別の状況に応じたきめ細やかな切れ目のない支援を地域全体で連携して推進することを目的に策定した計画です。</p>	250円
	<p>『かつしか教育プラン2024～2028[葛飾区教育振興基本計画]』</p> <p>「かがやく未来をつくる力をはぐくむ ～ 共に学びあい 支えあうまち かつしか～」を実現するための3つの基本方針など、葛飾区の教育の一層の振興、発展を実現するための取組をまとめました。</p>	390円
	<p>『葛飾区史』</p> <p>葛飾区は、東京都東部に位置し多くの河川が流れ、古くから地理環境に大きな影響を受けて発展してきました。本書は、区民の皆さんからの提供写真を含む多くの写真や浮世絵、古文書など約800点を通して、古代から現代までの葛飾区の移り変わりが紹介されています。</p>	2,100円
	<p>『特別展図録「怪力伝説」』</p> <p>本書は、平成11年度に開催した特別展「怪力伝説」の図録です。神社の余興等として行われていた東京近郊の草相撲と力持ちの世界、さらには、葛飾区内にただ一つあった大相撲の立田川部屋が紹介されています。</p>	1,000円

	<p>『肥やしの子カラ』</p> <p>本書は、平成16年度に開催した特別展「肥やしの子カラ」の図録です。都市(江戸の町)から排出される人糞尿を下肥として活用してきた農村の歴史(江戸時代)から昭和に入ってから肥やしの近代化、さらには、未来の肥やし利用までを紹介しています。</p>	<p>600円</p>
	<p>『親鸞と青砥藤綱』</p> <p>本書は、平成17年度に開催した特別展「親鸞と青砥藤綱」の図録です。葛飾区には、親鸞をはじめ、青砥藤綱、葛西氏など人物伝説や立石様にまつわる伝承など、歴史伝説が数多く語り継がれています。そこで、視点を変えて、伝説の実像や背景について追求し、歴史的な位置づけをしたものです。</p>	<p>800円</p>
	<p>『葛飾区の民俗 I X 「葛飾区の民俗 総集編」』</p> <p>葛飾区では、昭和60年から継続して区内の民俗を調査、記録してきました。さらに、平成12年からはこれらの成果をまとめた「葛飾区の民俗シリーズ」を刊行しました。本書はその最後の総まとめです。</p>	<p>300円</p>